

1. 活動概要

勾玉は、今から約 3000 年位前の縄文時代終わり頃から古墳時代前期にかけて位の高い人や祭りを営む人が権力の象徴や魔除けとして身に付けるために作られてきました。その形は「月」や「釣り針」、「牙」、「腎臓」、「肝臓」、「胎児」などを信仰し形取ったと言われ、ヒモを通す穴は、現在まで私達の生命をつなげてくれた祖先とのつながりをあらわしているものと考えられています。当時の生活背景や、歴史を楽しく学びながらつくる『世界にひとつしかない勾玉』はいつまでも思い出に残る大切なものになります。

ねらい：出来上がりの形を想像しながら滑石を磨くことを通して、試行錯誤しながら創意工夫することの楽しさを味わう。

2. 活動場所 体育館、体育館ピロティ、サービスセンター、あじさい広場など屋外

3. 所要時間 2～3時間程度（団体の設定による）

4. 準 備 《自然の家》滑石（かっせき）・サンドペーパー・耐水ペーパー・ヒモ
工作板・金属ヤスリ・錐・のこぎり

5. 費 用 260円（滑石（かっせき）、紙やすり、耐水ペーパー、ひも）

6. 活動内容

【図1】



①形を考えながら石に鉛筆で下書きをし、目印をつけヒモを通す穴をキリであけます。【図1】

※使用する石によっては穴があいている場合もあります。

【図2】



②余分な箇所をのこぎりで切断し、おおまかな形を作ります。【図2】

※切断した端材で小さな飾りを作ることにも出来ます。

【図3】



③金属ヤスリ、サンドペーパーで削りながら形を整えます。

④耐水ペーパーを使用し、水の中で磨き仕上げます。【図3】

【図4】



⑤穴にヒモを通して完成。【図4】

7. 実施上の留意点

- ・刃物を使用するときはふざけないようにします。
- ・石を削るときは、指や爪を傷つけないように気をつけます。
- ・作業後は用具の点検と返納を確認し、清掃します。